

# 岩手郡医報

高橋 孝先生書



初秋の岩手山

## Contents

### 岩手郡医師会通常総会

- 高橋会長挨拶（要旨）
- 第1回岩手県医師会生涯教育委員会報告
- 平成14年度第1回岩手紫波管内合同入所判定委員会
- いわて医師協同組合第12回通常総会
- 第61回産業医部会幹事会並びに地域産業保健センター連絡会
- 平成14年度第1回財団法人岩手県予防医学協会評議委員会
- 広報及健康教育部会報告
- 労災担当報告
- 学校医部会報告
- 第31回岩手県医師信用組合通常総代会報告
- 特別講演「糖尿病性腎症治療の最前線」  
仙台厚生病院糖尿病科 部長 赤井裕輝先生
- 懇親会
- 岩手県医師会会員表彰
- 第10回岩手県北周産期研究会報告
- 編集後記

高橋牧之助

高橋 孝

高橋 孝

高橋 孝

八角正司

高橋 孝

柄内秀彦

篠村達雅

上原充郎

坂井博毅

レポーター

紺野敏昭

柄内秀彦

坂井博毅

2002.8.No.74  
岩手郡  
医師会

## 平成14年度 岩手郡医師会通常総会

### 会長挨拶の要旨

本日は診療でお疲れのところ、平成14年度岩手郡医師会通常総会に出席頂きありがとうございます。開会にあたりご挨拶申し上げます。

13年度を振りってみると、お祝いもなく悲しみもない平穏な一年だったと思います。今年の2月の臨時総会で選出された新執行部により会務・事業は順調に始動しておるところであります。事業の推進にあたりましては皆様の格段のご理解と協力を頂いておりまことに對し心から感謝申し上げます。ご承知のとおり、診療報酬改定から3ヶ月過ぎました。初めての-2.7%と言うマイナス改定がなされました。医療機関は様々な形でマイナス改定の影響を受けております。坪井会長は社会的影響を配慮した苦汁の選択を受け入れたと申しておりますが、極端な医療費抑制によるマイナス改定であると対応の不透明さに批判が続出したわけです。

今回の改定を具体的にいうと、外来ではひと月の一定回数を超えると病院も診療所も再診料は半額になる。薬も2週間以上はだせなかつた規制の枠がはずされた。それによって患者の通院回数が減る。患者も薬をもらう時の処方せん料も引き下げ、入院も6ヶ月を超えると入院費の一部が患者負担となる。その結果入院患者が減る。手術も年間に手がけた数や医師のキャリアといった新たなハードルを越えられないと3割減額される手術の項目が大幅に増えた。4月以降、外来、入院、手術と、医療機関での診療を包み込む形でマイナス改定の波が押し寄せているわけであります。

一昨日、日医・日歯・日薬の三師会は、参議院で審議中の健康保険法等改正案や診療報酬マイナス改定の影響などで共同歩調をとつて活動するための「総合戦略本部」を立ち上げ、本部長に坪井日医会長、関係国会議員の出席を得て活動開始との事です。

6月末から審議されている健保法改正案についても、あらためて対応を表明して高齢者の1割り負担・被用者保険の3割負担等断固反対。この診療報酬改定に対しても、医療側から再改定や撤回の要求が出ているのはご存じの通りであります。

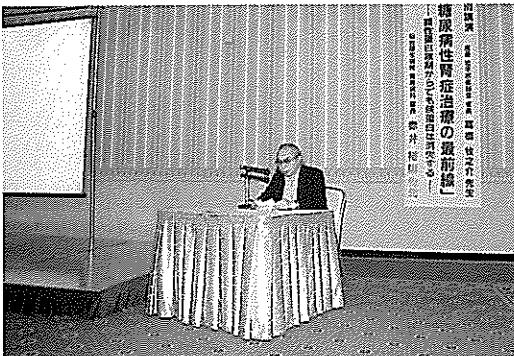
更に、世界が羨む現在の制度=国民皆保険制度のすばらしい点・制度が、今や国民の生命・人権を奪うような、財政主導の医療制度改悪案に崩壊寸前です。「どんどん良くなる法華の太鼓」という語呂がありますが、これとは正反対に我々を取り巻く環境は「どんどん悪くなる医療制度」であります。こうゆう大変な時代だからこそ、医療のプロヘッショナルが大同団結して事にあたらなければなりません。医師連盟の更なる強化が求められる由縁であります。

近ごろ当医師会は会員増加が目覚ましく106名と郡市医師会の中で6番目で、増えるのは若い先生方で喜ばしい限りであります。若い先生方の参加が医師会の活性化、活力に繋がるからであります。

我々は、地域住民に開かれた医師会として保健・医療・福祉に貢献してきたし、これからも医師会事業を軸に機能分担の連携を進め、関係諸機関と協力しながら、地域医療の実践に励まなければなりません。これが開かれた医師会活動だと思います。その大前提是、各会員が医師会活動により積極的に参加することに尽きると言えます。会員参加型の医師会になることを願っております。



高橋会長挨拶



高橋孝議長にて開会



会場風景

## 第1回岩手県医師会生涯教育委員会

平成14年5月31日(金) 午後6時 岩手医師会館2階 第2会議室 高橋 孝

岩手県医師会長石川育成会長より開会の挨拶があり、委員長に小野繁岩手医科大学学長を選出し、利部、樋口、樋本の3先生が副委員長に選出されました。

次第に則り報告の中に学術の事業計画がありました。すでに雑誌など紙面に発表されておりまますので割愛いたしますが、生涯教育制度については、日本医師会の主事業であり申告率はもとより生涯教育に取り組まなければならぬ旨のお話が多くの委員よりあります。他の免許取得を要する職種では生涯教育が盛んで、医師のみが甘えてはおれない。勤務医など大学、公立病院の医師に多くみられます。学会出席者等で勉強しているので進行等必要ないと考えますが、唯一誰がみても学習の証の見えるのが申告することで、或る先生はオンブズマンなどは注目しているのではないかとの意見も出ていました。

日本医師会雑誌に最新の論文、記事を掲載し、記事を読んでから、はがきによるアンケート様式でセルフアセスメントによる生涯教育の申告がありました。5月1日よりインターネットでの申告も可能になりました。又6月1日より日医のホームページでもビデオ生涯教育講座が見られるようになりました。岩手郡の申告率は5月30日現在で70パーセントに満たなく、県医師会の中でも申告率の悪い方でし

た、因に岩手医科大学医師会は81.5パーセントでした。申告用紙を紛失した等に対しても、快く対応し、高橋会長が一生懸命申告率の向上に努力をしております、会員各位はこれに答えて下さい。会員各位の自覚の問題でもありますが、地域において選出された理事各位の何らかの努力も申告率の向上に大きく寄与するのではと思っております。

これはお知らせですが、来る6月3日北上市のホテルシティプラザ北上で開催される、岩手県医師会総会の特別講演に講師として、早稲田大学教授(工学博士)吉村作治氏の「古代エジプト文明の魅力」と題して、13時より14時迄(予定)テレビでお馴染みの髭の先生のお話しがあります、是非お聞き下さい。以上です。



部会報告風景

**平成14年度第1回岩手紫波管内  
合同入所判定委員会**

平成14年5月31日(金)3時30分  
盛岡地区合同庁舎7階 高橋 孝

**いわて医師会協同組合**

**第12回通常総代会**

平成14年5月25日(土)午後3時  
岩手医師会館 高橋 孝

葛巻町が当番で開催された。判定委員の委嘱状交付があり、小野寺盛岡保健所長、山下県立紫波病院長、佐藤保健福祉部福祉課地域福祉主査、宮野養護老人ホーム玉寿荘施設長と私に平成14年4月1日より平成15年3月31日までの辞令が交付された。委員長に小野寺歟保健所長を選び3名の入所判定を行った。3名の一人に弱視、高齢もあり、慢性腎不全、糖尿病でインシュリン自己注射、週2回の人工透析を行っている申請者がおりましたが、身体状況、性格、対人関係、精神状態、問題行動、家族状況、住居状況、経済状況、最後に医師の診断書等などの資料の則り公平に判定され、要入所と判定された。透析等手間のかかる入所者で、施設のご苦労が予想されました。以上です。



西島理事 嶋、篠村、八角、高橋(孝)の各総代が出席した。13年度の報告、14年度の計画、収支予算案等が審議されたが、大まかな感じた事を報告いたします。

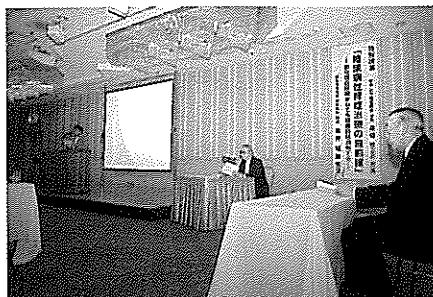
- 1) この不況の中で、購買事業が伸び悩んでいる、しかし医療廃棄物の処理事業は伸びているとの報告があった。
- 2) 会員の奥様方に医協を良く理解して頂き、商品の利用、事業を理解して頂くために奥様達にもご参加いただき「医業経営」に関する講習会などを開き、医協をもっと利用して頂きたいとの事であった。
- 3) 生命保険、損害保険の各機関、会社の格付け情報もありました、しかしこれは絶対的なものではなく、しかし参考にはなると思いますので新規加入の場合は一度問い合わせて参考にしてはとも思いました。
- 4) グループ保健については、「医協グループ保険」として発足するとの事であった。
- 5) 経営状況ですが、いつでも現金化できる流動資産と、相手から支払いを要求された場合支払わなければならない流動負債、これで割ると300パーセントで、即ち会員に資本金をかえしても未だ二倍の支払い能力が、利益があるという、健全な財政であった。
- 6) 最後に理事も監事も定数の立候補者数でしたが、西島先生が再度理事に選ばれました。

以上ですが、もっともっと「医協」をよく研究し、知り、多くの会員が不況だからこそ、利用したらと思いました。

## 産業医部会報告

八角 正司

平成14年5月11日(土)午後3時30分より、第61回産業医部会幹事会並びに地域産業保健センター連絡会が開催されました。今年度事業計画は別紙のとおりです。



高橋議長と八角理事

### 平成14年度研修事業について

#### 【岩手県医師会主催】

1. 基礎(後期)・生涯(専門)研修会 5単位  
平成14年11月16日(土) 岩手県医師会館
2. 基礎・生涯(実地)研修会 各4単位  
①平成14年11月30日(土) 岩手医科大学実習室  
②平成14年12月7日(土) 岩手医科大学実習室
3. 基礎(後期)・生涯(専門)並びにスポーツ医学再研修会 5単位  
平成15年2月1日(土) 岩手県医師会館

#### 【各郡市医師会主催】

岩手郡医師会では10月頃に実地研修会を予定しております。

#### 【岩手産業保健推進センター主催】

1. 基礎(後期・実地)・生涯(更新・実地・専門)研修会 4単位  
平成14年5月19日(日) 岩手産業保健推進センター
2. 基礎(後期)・生涯(専門)研修会 4単位  
平成14年8月25日(日) 岩手産業保健推進センター
3. 基礎(後期)・生涯(専門)研修会 4単位  
平成14年11月 日(土) 岩手産業保健推進センター

## 平成14年度第一回財団法人 岩手県予防医学協会評議員会

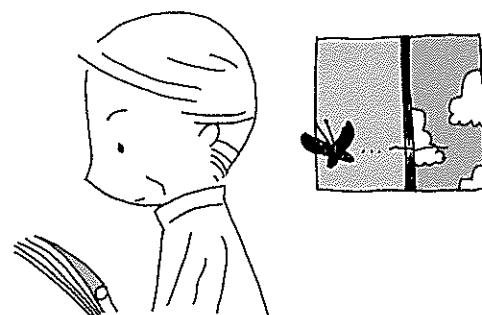
日時 平成14年6月6日(木)18時  
岩手県医師会館3階視聴覚室 評議員 高橋 孝

平成14年3月15日の評議員会の新規事業については報告しましたが、今度は平成13年度の事業報告と決算報告が議題でした。

冒頭高橋会長が挨拶のなかで、会長が大変苦惱された、この度の一人の心ない者の不祥事について陳謝し、綱紀肅正を約束されました。

報告の中に縷々説明があり、満場一致で承認されました。この不況の中、しかも競合する事業所があるなかで検診件数も前年比率1.3パーセント増、事業収入も1.4パーセント増、営業利益は前年度より4千3百96万円の増となった、しかも人件費、経費の節減で特に人件費は4千6百万円すくなかったとの報告がありました。大沢三郎監事に不況の折りにこのような決算をみると、ちょっとした不祥事はあったが役職員が如何に頑張ったかその努力を評価し、敬意を表したい旨のお話しがあったとの報告もありました。会員の皆さんも会長をご心配なったことと思いますし会長も疲労困憊のようですが、会長にはご苦労ですが、この職で頑張っていただきたいと願っております。会員も地域において、予防医学協会事業の推進に協力されますことをお願いいたします。

以上岩手郡医師会代表として出席しました評議員会の報告といたします。



## 広報部会報告

板内 秀彦

坂井先生に代わり岩手郡の広報委員となり、早速5月18日岩手県広報委員会・いわて医報編集委員連絡協議会に出席致しました。

内容に関しましては、いわて医報6月号に記載されていますが、下記協議が行われました。

1. 平成14年度事業計画
2. 日報掲載記事「お元気ですか」
3. JA情報誌「L I V E」
4. NHK情報番組について
5. いわて医報について

広報委員会は一期2年で既に2ヶ年間のスケジュールが出来上がっており、各郡市医師会にも分担原稿があります。岩手郡医師会は、いわて医報6月号への「一筆啓上」の依頼がありました。締め切りが近かった為、恥ずかしながら小生が「室生寺と御所湖(零石)」と題し原稿提出しております。今後の岩手郡への分担原稿につきましては、会長・理事と相談の上、会員の先生方にご依頼する予定でありますので、ご協力をお願い致します。

## 健康教育

板内 秀彦

昨年度は、岩手町と葛巻町にて町村民健康講座を開催し、いずれも盛会裏に終る事が出来ました。

今年度は、安代町が岩手郡に入りました事もあり、安代町と玉山村にて開催する予定です。

実行は例年通り農閑期の1~2月頃に、予防医学(生活習慣病)を中心とする講演を予定しております。

開催にあたりましては、理事並びに地元の先生方のご協力をお願い致します。

## 労災担当報告

篠村 達雅

・労災診療費算定基準改定は4月1日に遡って実施

・労災診療費の算定基準は、健保点数(診療報酬点数)に労災診療単価(1点12円)を乗じて算定する「健康準拠部分」と、労災の特殊性を考慮して別に定める「特掲部分」(初診料、再診料、処置、手術、リハビリ料の一部、入院料等)にわかかれている。

・再診料は、発症後3ヶ月以内は、1,380円で通減なし、3ヶ月を超えた場合も月5回目までは1,380円で、6回目から690円に半減する。月4回目から大幅に点数が下がる診療報酬の再診料よりは良いが、いっそのこと、労災保健は再診料・外来管理加算などは、通減制など導入しないでもらいたい。(要望です)

・消炎鎮痛処置に介達索引が統合されました。介達牽引の点数は従来どうりで良いのではないか。(要望)

・早期リハビリ加算は、理学療法ⅢでもⅣでも取れるようになった。

・入院室料加算は、3人部屋、4人部屋でも対応できるようになった。

◎診療報酬改定では整形外科領域に問題が多いという意見があったが、労災はそんならないように評価が高まっている。



## 学校医部会よりの報告

上原 充郎

第一回岩手県医師会学校医部会幹事会が平成14年6月8日、県医師会館において15市郡医師会の幹事が参加して開催されました。

昨年度の報告に続いて平成14年度の学校保健事業計画が協議されました。(別紙)その中で第十九回岩手県学校保健、学校医大会が平成15年1月19日(日)に県医師会館で開催されます。

シンポジウムは思春期保健への取り組みに関するテーマになりそうです。会員多数の参加をお願い致します。

## 平成14年度 学校保健事業計画

- (1) 岩手県学校保健・学校医大会の開催
- (2) 児童生徒の心の健康への取り組み
- (3) 思春期保健への取り組み
- (4) 小児期における生活習慣病予防対策
- (5) 学校保健委員会活動の推進
- (6) 幼稚園・保育園医の組織化
- (7) 学校保健関係団体との連携
- (8) 母子保健と連携強化

## 岩手県医師信用組合 第31回通常総代会報告

医師信用組合理事 坂井 博毅

### 第1回岩手県医師会学校医部会 幹事会

日時 平成14年6月8日(土) 午後3時

場所 岩手県医師会館3階 中会議室

次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 部会長、副部会長の選出について
4. 報告
  - (1) 平成13年度事業報告について
  - (2) 平成13年度学校検診結果報告について
  - (3) 平成14年度都市医師会学校医部会活動計画について
  - (4) 第14回東北学校保健・学校医大会について
  - (5) 第33回全国学校保健・学校医大会について
  - (6) その他
5. 協議
  - (1) 平成14年度事業の実施について
  - (2) 第19回岩手県学校保健・学校医大会開催について
  - (3) その他
6. 閉会

岩手県医師信用組合第31回通常総代会が平成14年6月29日岩手県医師会館で開催されました。岩手郡医師会からは総代の八角正司先生、副会長西島康之先生と私が参加しました。及川量平専務理事の司会で小川清介理事長と、石川育成岩手県医師会長の御挨拶のあと会議が進行されました。

事業報告その他の詳しいことは岩手県医師信用組合発行資料をご覧いただきたいと思いますが、厳しい金融機関の環境の中で当組合は昨年度は12億2千200万円の預金積金の増加で期末残高165億300万円となり、収益は前年比約1000万円増の1億8千2百10万円となり、自己資本比率も国内基準の4%を大幅に上回る17.13%と健全経営であることが報告されました。ペイオフの時代ですが安心して当組合を御利用していただきたいと思います。

会議は進行し、各種議案が上程可決された後、任期満了に伴う役員改選が行われ、岩手郡医師会からは秋浜晃先生の御勇退のため、不祥私が理事を努めさせていただくことになりました。各都市医師会の理事が選出された後、理事長、専務理事、常務理事の選出が行われましたが、小川理事長始め全員が留任という形でご活躍いただくことになりました。

## 特別講演「糖尿病性腎症治療の最前線」

仙台厚生病院糖尿病科部長 赤井裕輝先生

講演内容主旨 レポーター 紺野敏昭

平成14年7月1日岩手郡医師会通常総会に引き続いだ学術講演会が開催され、「糖尿病性腎症治療の最前線」

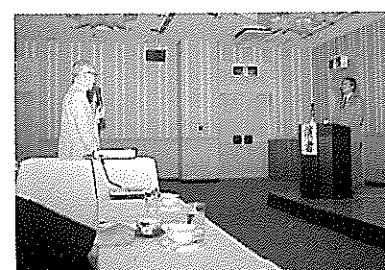
一顕性蛋白尿期からでも尿蛋白は消失するというテーマで仙台厚生病院糖尿病科部長赤井裕輝先生をお迎えしてご講演を頂いた。最初に日本の歴史上の人物で最初の糖尿病患者は藤原道長であると教えられ、興味をそそられた。平成8年には透析療法患者の基礎疾患として糖尿病性腎症が腎炎を抜いて第一位となっている。通常糖尿病患者を診療していく中で、腎症の兆候が出現してくるともはや進行をくい止める手ではなく、いつどの時期に透析治療を目的として専門医に紹介するかだけに注意が向けられがちである。赤井先生のご講演の要旨はすでに顕性蛋白尿期、腎不全期に至っている患者さんの透析移行を阻止、あるいは遅らせることが出来ないかという発想から、現在手に入れることの出来る武器(戦略)を最大限に活用して果敢に挑戦してきたご自身のアプローチと経過についてでした。厳格な血糖コントロール、厳格な血圧管理、低蛋白食の実施は患者さんにとっても担当する医師にとっても辛いものである。しかし一旦透析療法に入ると、週3回の透析の維持の方が遙かに辛いものになるという一貫して糖尿病患者を最初から最後まで診療してこられた先生のご見識と人間愛から出たアプローチでした。降圧目標は140/90mmHg以下(できれば130/85mmHg以下)、グリコヘモグロビンは6.5%以下、蛋白尿は0.8gr以下にとのことでした。血圧が下降するほど蛋白尿も低下することです。最後に糖尿病気質のお話があり、褒めてあげると喜ぶ人が多く、達成できそうな目標から提示して達成できた度に褒めながら少しづつ目標を高めていくことがポイントのようです。日常診療で大変役立つコツでした。

赤井先生のご講演は非常に明快なお話でし

た。研究の出発が高邁な理論からではなく、きめ細かな患者の病態の把握と、分析から新たな治療法の開発、あるいは病態の解明を探っていくという医師としての原点を垣間見せて下さった内容でした。

開業医として医療の最前線を担当している我々会員は日常の業務の煩雑さについつい埋没してしまいがちですが、ロベルト・コッホが一開業医として働きながらコツコツと顕微鏡観察を継続して細菌学の端緒を開き、ついには巨大な学問体系を築き上げたことに思いを馳せながら、非常に感銘深く拝聴いたしました。

先生は盛岡のご出身で盛岡一高卒とのことです。会員一同赤井先生の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

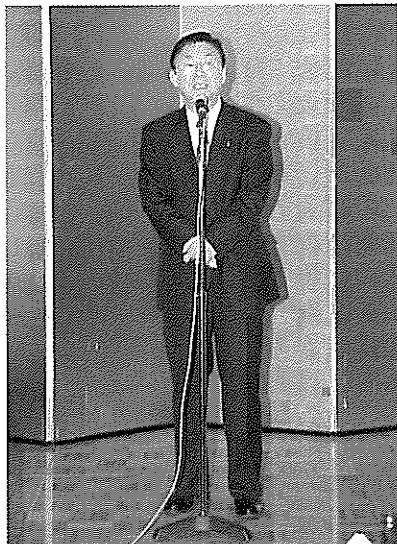


質問される佐藤誠先生

## 懇親会及県医師会表彰者祝賀会

総会並びに学術講演会の後、懇親会及県医師会表彰者祝賀会が開催された。高橋会長の挨拶に始まり、表彰者を代表し根本忠夫先生が代表して御礼の言葉を述べた。佐藤誠岩手医大名誉教授の乾杯の音頭で祝宴は始められた。

上原先生のトランペットとサクソホーン演奏で懇親会を大いに盛り上げていただいた。いつもながらの名演奏に一同楽しい夕べの一時を過ごさせていただいた。聞き惚れたあまり上原先生の演奏のスナップ写真を撮り忘れてしまったのは大変残念でした。上原先生におわびいたします。



会長挨拶



根本先生のお礼の言葉

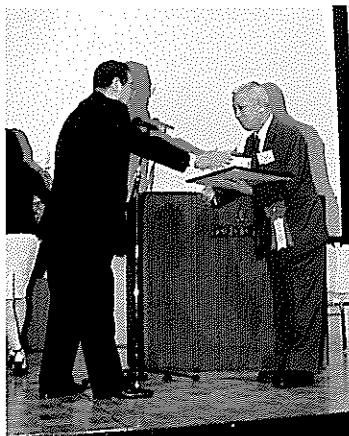


佐藤先生の乾杯の御発声

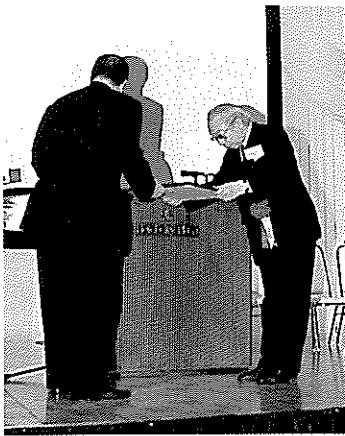
## 岩手県医師会会員表彰

板内 秀彦

第54回岩手県医師会総会が平成14年6月30日、北上市のホテルシティプラザ北上で開催された。その際岩手郡医師会から積年の医師会活動の功績が認められ、高橋孝先生、根本忠夫先生、坂井博毅先生の3名が岩手県医師会会員表彰を受け、石川育成岩手県医師会会长より表彰状と記念品が贈呈された。長年のご功績に感謝し、心からお喜びを申し上げ、報告いたします。尚、坂井先生は当日県北周産期研究会出席のため奥様が代理で表彰を受けられた。



根本忠夫先生



高橋孝先生



坂井令夫人

## 第10回県北周産期研究会の報告

坂井 博毅

第10回県北周産期研究会が二戸市の担当で二戸市医師会長川村英一先生の代表世話人、県立福岡病院産婦人科部長三浦史晴先生の当番世話人で平成14年6月30日午後2時より、二戸パークホテル豊明殿の間で盛大に開催された。



歓迎のご挨拶の二戸市医師会長川村英一先生

県北周産期研究会は県北の周産期に携わる医師や助産婦・看護師・検査技師・栄養士その他パラメディカルの方々が1年に一度一同に会し、日進月歩の周産期学の研鑽に励む事を目的として、今回代表世話人と成られた川村英一先生の発案で10年前発足した会である。開催地は二戸・久慈・岩手郡の3地区で持ち回り制で岩手郡は昨年安比グランドホテルで開催させていただいた。今回の会の内容を以下

報告する。

### 一般演題

- 1)『左大腿部を切断した褥婦への退院にむけての育児支援』

県立福岡病院 林 由紀

- 2)『新生児感染症スクリーニングにおけるA P Rスコア』

坂井医院 田中 一男

- 3)『妊娠中及産後における喫煙の実態とその禁煙始動について』

岩手県立大学 藤村 由希子

- 4)『出生直後のカンガルーケアの取り組みまでの実践報告』

県立福岡病院 浅沼 公美子

- 5)『当院における母児同室の開始時期と母乳分泌量についての研究』

県立久慈病院 燕田 麻紀

- 6)『フリースタイル分娩と従来の分娩の比較』

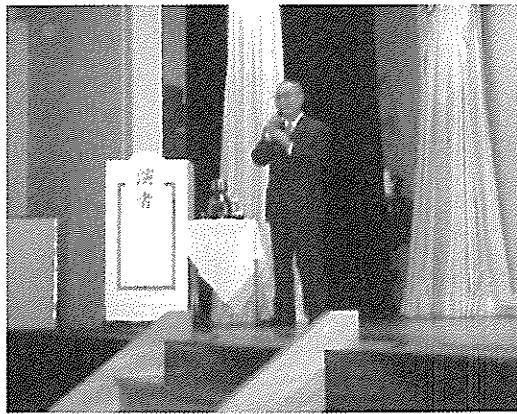
県立久慈病院 佐藤 昌之

### 特別講演

「21世紀の産科医療におけるリスクマネージメント」 赤心堂病院院長 市川 尚先生



特別講演 座長の三浦史晴先生



特別講演 市川 尚先生



乾杯の音頭 布川英樹先生



懇親会風景

みんなの いわてを  
医 協  
ご利用ねがいます

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料  
その他・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から  
各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険事  
務代行事業・高速道路割引カード・その他各種

**TEL.019-626-3880**  
購買専用 **0120-054-222**  
**FAX.019-626-3883**

URL <http://www.ginga.or.jp/isikyo>  
E-mail [isikyo@rose.ocn.ne.jp](mailto:isikyo@rose.ocn.ne.jp)

 **いわて医師協同組合**  
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION  
〒020-0024 盛岡市榮園二丁目6番20号 岩手県医師会館内



## 編集後記

- 今回も総会特集号となりました。大きな郡医師会の行事がないと医報が出せない状況にあります。部会報告など原稿をいただいた先生方には急がせ申し訳なく思います。
- 前回も多くの誤字誤植があり多くの先生方から苦情をいただきました。今後もどしどし御指摘ください。
- 折角原稿を急いでいただいたのに、インターネットをブロードバンドに変える際、編集用のパソコンがトラブル一時期プリンターが使えず更に医報発行が遅れてしまいました。心からお詫びいたします。
- 医報の内容充実と発行回数を増やすための良いアイデアがありましたならお教えください。(坂井)